

アートが地域にできること

地域を元気にするために、さまざまな取り組みが進められています。そんななかで、即効性はないかもしれませんが、そこに暮らす人たちに、地域への誇りや自信をもたらし、多様性への視点を提供してくれる「アート」に注目してみました。



栃木県足利市民会館 「現代版足利学校創造」 をめざして

一九六〇年代から「子どもたちへの芸術環境づくり」をめざしアウトリーチ活動に先駆的に取り組んできた同館は、市民参加の「活性化計画」や「現代版足利学校創造プロジェクト」で地域を元気にする劇場をめざします。(本誌一八頁)

島根県松江市
八雲国際演劇祭と
人づくり・まちづくり
松江市の旧八雲村で一九九九年から続く三年に一度の「八雲国際演劇祭」。劇団と行政と市民が一緒になってつくりあげる文化イベントが、地域づくりにどう活かされてきたのかをレポートします。(本誌三五頁)



アーツアライフ 医療・福祉現場に 貢献するアート

入院患者、障害者などを対象に、プロの作家との共同創作プログラムを実施したり、認知症の高齢者とその介護者を対象に、アートに触れながら対話をする活動に取り組む団体の事例から、アートのもつ新しい可能性を探ります。(本誌四〇頁)

